

## 伊豆沼・内沼ラムサール条約湿地登録 40 周年記念関連事業実施結果

## 1 目的

伊豆沼・内沼のラムサール条約登録40周年を記念し、湿地の価値とこれまでの研究・保全活動、未来に向けた活用の在り方を共有・発信し、ラムサール条約の基本理念である、湿地の「保全・再生」、「ワイズユース（賢明な利用）」及び「交流・教育・普及啓発（CEPA）」の促進により、伊豆沼・内沼の自然環境を守り、将来へつないでいくことを目的として以下の事業を実施した。

## 2 実施概要

## &lt;連携事業&gt;

- ① 一般県民を対象とした記念イベントの開催（11/1）
- ② 記念式典・シンポジウムの開催（12/23）

## &lt;県自然保護課&gt;

- ③ 大阪万博におけるOne Greenシンポジウム・イベントへのポスター出展（5/7-8）
- ④ ラムサール条約登録湿地特設ページの開設
- ⑤ 県政だより（7・8月号）への特集ページ掲載
- ⑥ 大阪万博メディアセンターでの、ポスター・動画・パンフレット展示（9/22-24）
- ⑦ ノベルティ（エコバッグ）、バナースタンドの製作
- ⑧ 県政ラジオ放送による伊豆沼・内沼の取組紹介（1/31）

## &lt;（公財）宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団・鳥館&gt;

- ⑨ 自然体験講座（10回中5回を特別プログラムで実施）
- ⑩ フォトコンテストにおける特別企画（県内ラムサール条約湿地を対象）
- ⑪ 民間企業・ボランティア等と連携した環境保全活動  
（バス・バスターズ、トヨタ関連会社他）
- ⑫ 友の会「秋穫祭」の拡大実施の支援
- ⑬ 記念誌の発行
- ⑭ 記念缶バッジの作成
- 連携事業②のレセプションの開催（12/23）

#### <東北地方環境事務所>

- ⑮ オリジナル手ぬぐいの制作・頒布
- 参加した各イベントにおいて周年記念をPR

#### <登米市>

- 伊豆沼・内沼はすまつり（7月）、クリーンキャンペーン（3月）において周年記念をPR
- ⑯ 小中学生向けリーフレットを作成し配付

#### <栗原市>

- ⑰ 広報くりはら（8月号）への特集ページ掲載（見開き4ページ）
- 伊豆沼・内沼はすまつり（7月）、クリーンキャンペーン（3月）において周年記念をPR

#### <伊豆沼農産・淡水魚館>

- ⑱ 伊豆沼・内沼総合作品展の開催（主催：伊豆沼・内沼自然保護協会）（7/1～8/31）

### 3 取組の成果

#### 40周年事業実施の成果

##### (県自然保護課)

- 関係機関・団体との共催や協力体制を構築し、役割分担のもとで円滑な事業運営を行うことができた。
- ①記念イベントでは、普段関わりの少ない地元企業の参画も得るとともに、多くの一般来場者が参加し、伊豆沼・内沼の価値やラムサール条約湿地としての意義を広く発信する機会となった。
- ②記念式典・シンポジウムにおいては、行政、研究者、保全活動団体、地域関係者等が一堂に会し、伊豆沼・内沼の自然環境の重要性や、これまでの保全・利活用の取組の成果について共有することができた。
- これらの場を通じて、自然環境を後世に継承していく必要性や、今後の保全・活用の方向性について、関係者間で共通認識を形成することができた。

##### (宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団)

- ①、②の連携事業に参加し、これまでの取組を整理・総括し関係者等に感謝の意を伝えることができた。また、その成果や課題を多くの皆さんと共有したことにより、伊豆沼・内沼の環境保全活動への理解度が高まったと感じている。
- 財団の自主事業は、すべて40周年に併せて特別プログラムとしたが、これまでの取組を踏まえた新しい企画に挑戦をしたものが多かった。参加者の反応は、おおむね良く、次年度以降も継続してほしいとの意見（アンケート）も多かった。
- ボランティア団体や企業と連携した環境保全活動に積極的に取り組んだことにより、多くの皆さんに活動をしていただくためのノウハウを積み重ねることができた。
- ラムサール登録40周年で、各種広報誌等で特集記事等を掲載して頂いた事により、伊豆沼・内沼の認知度が高まったと感じている。

##### (東北地方環境事務所)

- 各イベントへの参画にあたり、関係機関・団体との意見交換や協働等を通じ、関係の強化を図れた。また、制作したノベルティが好評を得ることができ、普及啓発にも貢献できた。
- ②記念式典・シンポジウムにおいては、来賓挨拶やパネラーとしての登壇の機会をいただき、伊豆沼・内沼の自然環境の重要性を振り返るとともに、地域における自然再生・ネイチャーポジティブ、多様な主体が参画した活動の価値等について共有することができた。
- これらの場を通じて、自然環境を後世に継承していく必要性や、今後の保全・活用の方向性について、関係者間で共通認識を形成することができた。

##### (登米市)

- 小中学生向けのラムサール条約湿地に関するリーフレットを作成し、市内全小中学校児童生徒に配布し、認知度の向上を図ることができた。

##### (栗原市)

- 特集記事の掲載により、伊豆沼・内沼がラムサール条約湿地に登録されて40周年を迎えることを市民に発信することができた。
- 伊豆沼・内沼はすまつりにおいてPRしたことにより、伊豆沼・内沼がラムサール条約湿地に登録されて40周年を迎えることを観光客に周知することができた。

## 50周年に向けた課題等

### (県自然保護課)

- 記念事業を通じて高まった関心や機運を、一時的なものに終わらせず、継続的な取組へとつなげていく仕組みづくりが求められる。

### (宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団)

- 自然再生事業の核となる団体であることを踏まえ、自然再生事業で得た知見をワイズユース推進に活かしていくため、地域の皆さんや各種企業等と連携した取組を推進してきたいと考えている。そのために必要な環境の整備（スタッフ・財源確保等）にも併せて取り組んで行く。

### (東北地方環境事務所)

- 多くの取組を通じて高まった関心や機運を、地域のネイチャーポジティブの推進、自然共生サイトの認定箇所数の増加や規模拡大、民間企業の更なる参画等につなげていくことが求められる。

### (登米市)

- ラムサール条約の認知度が高くない状況であり、地域の活動を継続していくためには、効果的なPRや学校と連携した環境教育活動が必要となる。

### (栗原市)

- これまで続けてきた各事業を、これからも継続して実施することが必要であるとする。

### (くりはらツーリズムネットワーク)

- 周年を記念することが目的ではなく、周年を契機にして、伊豆沼・内沼の保全のあり方を行政や関係者だけでなく、地域に住む人や地域外の人を含めて考える機会にすることを目的に設定すべきだと考えます。
- 一過性のイベントの実施ではなく、年間を通じてテレビなどマスメディアなどでのプロモーションなどで機運を高めていく方法を検討すべきだと思います。
- 周年を契機に保全のあり方や保全範囲の検討、住民との意見交換などを実施し、伊豆沼・内沼の保全への機運や仕組みを高めていく機会にすべきと考えます。

4 事業報告  
(1) 連携事業

①伊豆沼・内沼ラムサール条約湿地登録40周年記念イベント～みらいへつなぐいきものフェスタ～

一般県民を対象としたイベントを開催。当日は約700名の来場者があった。

(日時) 令和7年11月1日(土) 10時から15時

(場所) 宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター

(主催) 宮城県、(公財) 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

(共催) 登米市、栗原市

(協力) 東北地方環境事務所、(有)伊豆沼農産、(一社)くりはらツーリズムネットワーク、アトリエ「み」、kamone、circuloカフェ、登米粉たいやき

(概要) 野鳥・魚の観察会、ワークショップ(木工品づくり、クイズ等)、講演会、企画展示、物品販売(雑貨、カフェ、カレー、キッチンカー)、ゆるキャラ出展

**伊豆沼・内沼ラムサール条約湿地登録40周年記念イベント**  
1985-2025 40th Anniversary of the Ramsar site

**みらいへつなぐいきものフェスタ**  
2025年11月1日(土) 10:00-15:00  
場所: 宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター(鳥館)  
(栗原市若柳字上畑岡敷17番地の2)

**ワークショップ**

- ガン飛ばたくモバイルをつくらう!
- 伊豆沼のいきものペンダント・バズルづくり
- 作ってあそぼう! いきもの工作
- 目指せ渡り鳥マスター!
- 沼のいきもの復活大作戦!
- 伊豆沼の不思議を解き明かせ!
- クイズ形式のスタンプラリー

**自然観察会**

- ①魚の観察会 または ②探鳥会
- [内容] 伊豆沼のいきもの観察
- [定員] 各20名(先着)
- [集合時間] 9:00~10:30
- [申込み] 右のQRコードから申し込めください
- [お問合せ] TEL.0228-33-2216 (9:00~16:30 月曜休)
- (公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

**カフェ・物販**

- 伊豆沼カレー(数量限定)
- コーヒー、ケーキ、クッキーなど
- たいやき
- 伊豆沼のいきものをモチーフにした雑貨
- かわいい鳥グッズが当たるかも カプセルトイとくじ など

**事前申込制**

**事前予約制**

**①魚の観察会**  
伊豆沼には、どんな魚が、どのくらい生きているのか、沼の生態をしながら観察・体験します。

**②探鳥会**  
伊豆沼には、マガリハクジョウの他にたくさんの鳥がいます。専門家と一緒に鳥を探してみよう。

[定員] 各20名(先着) [開催時間] 9:00~10:30  
[お問合せ] TEL.0228-33-2216(9:00~16:30 月曜休)  
(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

問合せ先: 宮城県環境生活部自然保護課 TEL.022-211-2672(平日 8:30~17:15)

**各コーナー紹介**

「日本仕立り鳥マスター」はほか1つ以上のワークショップや観察会に参加された先着100組の方へ、開催者の登録40周年記念オリジナル手ぬいプリントをプレゼントします。

**1-1 ガン飛ばたくモバイルをつくらう!**  
伊豆沼のいきものペンダント・バズルづくり

**1-2 伊豆沼のいきものペンダント・バズルづくり**  
伊豆沼のいきものペンダント・バズルづくり

**1-3 作ってあそぼう! いきもの工作**  
いきものをテーマにした工作です。さまざまな工作が体験できます。

**2-1 目指せ渡り鳥マスター!**  
1. カンスターという道具を使って渡り鳥の動きを数センチ単位で、30mmの距離を測ります。

**2-2 沼のいきもの復活大作戦!**  
ゲームに楽しく、伊豆沼の生き物についてたくさん学びたいいきものを復活させよう。

**2-3 伊豆沼の不思議を解き明かせ! ~クイズ形式のスタンプラリー~**  
伊豆沼に関するクイズの先着ながら、オリジナルスタンプラリーを景賞します。

**3-1 伊豆沼ってどんなところ? ~ 研究員によるお話 ~**  
知っているようで知らない伊豆沼について、研究員がお話します。

**3-2 魚の観察会**  
伊豆沼には、どんな魚が、どのくらい生きているのか、沼の生態をしながら観察・体験します。

**3-3 探鳥会**  
伊豆沼には、マガリハクジョウの他にたくさんの鳥がいます。専門家と一緒に鳥を探してみよう。

**カフェ・物販**  
伊豆沼カレー(数量限定)  
鳥のイラストをテーマにしたケーキ・クッキーなど  
Sour Dough Bread  
伊豆沼のいきものペンダント・バズルづくり  
伊豆沼のいきものをモチーフにした雑貨  
かわいい鳥グッズが当たるかも カプセルトイとくじ

**アクセス**

**栗原市フェスティバル2025**  
～栗原市誕生20周年記念～ 同日開催

時間: 10:00~15:00  
会場: 栗原市(伊豆沼パークビジターセンター)  
〒989-6372 宮城県栗原市若柳町水産漁業振興センター 3階 301号室(鳥館) 伊豆沼・内沼

広報用チラシ

(配布先: 登米市・栗原市内の全小学校児童、県、2市行政庁、県内環境学習施設等)



伊豆沼・内沼オリジナルロゴ  
マークを作成  
周年事業後においても使用可



会場案内



野鳥観察会



ワークショップ会場



企画展示



Circolo カフェによるカフェ提供



伊豆沼農産によるカレー販売



登米っこたいやき キッチンカー



県・2市ゆるキャラ

## ②「伊豆沼・内沼ラムサール条約湿地登録40周年記念式典・シンポジウム」の開催

関係者、招待客、一般参加者を対象として式典・シンポジウムを開催。約160名が参加。

(日時) 令和7年12月23日(火) 13時から17時

(場所) エポカ21 (栗原市志波姫)

(主催) 宮城県

(共催) 登米市、栗原市、公益財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

(概要) 開会式(宮城県知事、登米市長、栗原市長)、感謝状贈呈(トヨタ自動車東日本株式会社・豊田合成東日本株式会社)、基調講演(樋口広芳 東京大学名誉教授)、事例発表(財団、築館高校)、パネルディスカッション



来賓あいさつ



感謝状贈呈



基調講演(樋口東大名誉教授)



取組発表(築館高校)



パネルディスカッション



質疑応答

## (2) 県自然保護課

### ③ One Green シンポジウム・イベントへのポスター出展

大阪万博で開催されたOne Green シンポジウム・イベント※において、伊豆沼・内沼自然再生事業を紹介したポスターを出展。

(日時) 令和7年5月7日、8日

(主催): 日本みどりのプロジェクト推進協議会



出展ポスター



シンポジウム会場



イベント会場

#### ④ ラムサール条約登録湿地特設ページの開設（県庁 HP）

- ・7月から特設ホームページを開設
- ・1月末時点で、約1,000件のアクセスがあった。



#### ★みやぎのラムサール条約登録湿地～ 関連イベント特設ページ～★

宮城県内には、県の北部を中心に4か所のラムサール条約登録湿地があります。令和7年は「伊豆沼・内沼」が登録40周年、「瀬栗沼・周辺水田」が登録20周年を迎えます。

各地域では、それぞれの湿地の自然を活用したイベントが開催されます。ぜひこの機会に足を運び、湿地の自然に触れてみませんか？

各湿地の特徴については、こちらをご覧ください。

♪♪イベント情報は随時更新されます♪♪

※各イベントの詳細については、リンク先に記載の各主催団体へお問い合わせください。

#### 伊豆沼・内沼（栗原市・登米市）～登録40周年～

・「伊豆沼・内沼ラムサール条約登録湿地40周年記念式典・シンポジウム」＜12月23日（火曜日）＞

伊豆沼・内沼のラムサール条約登録40周年を記念し、湿地の価値とこれまでの保全活動、未来に向けた活用の在り方を皆さんに共有・発信します。



1.日時：令和7年12月23日（火曜日）午後1時から午後5時まで

※鳥・シンポジウムは終了しました。参加費ありがけようございます。

2.会場：栗原市「エボカ21」大ホール

3.主催：宮城県

共催：登米市・栗原市・公益財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

4.問合せ先：宮城県環境生活部 自然保護課 自然保護課 022-211-2672（直通）

・「伊豆沼・内沼自然体験講座」＜令和7年6月～令和8年1月の各開催日＞

～伊豆沼・内沼の自然について楽しく学べる体験型の講座です～

#### ⑤ 県政だより（7・8月号）への特集ページ掲載（見開き1ページ）

7月1日発行の県政だよりに、特集ページを掲載。

### みやぎの ラムサール条約登録湿地の魅力

**① 伊豆沼・内沼** 世界に発信！生物多様性保全・研究の先導地

「ふゆみずたんぼ」で作られた、その名も「ふゆみずたんぼ米！」

**② 瀬栗沼・周辺水田** 人の営みと生き物たちの共生

水田は、ガンカモ類のえさ場となり、水を通ることで「ぬくろ」や水田みどりなどの林鳥の場として、生物多様性の保全に貢献しています。

**③ 化女沼** 湿地の大切さを後世に伝える

マガンなど3万羽のガンカモ類が飛来し、ハスなどの水生植物が生育しています。閑静な自由広場には、湿地や野鳥、林間などの景観が堪能され、憩いの場として利用されています。

**④ 志津川湾** 東北で唯一の海陸の登録湿地

海鳥やアマモなどの生態が生い詰る海の森や草原が広がり、冬には国の天然記念物であるコケシの姿が見られます。県内に豊富に形成する海草・海藻は、近年、ブルーカーボン化や浮遊藻としても注目されています。

伊豆沼・内沼 登録40周年  
瀬栗沼・周辺水田 登録20周年

**世界に誇るみやぎの  
ラムサール条約登録湿地**  
— 日本最大級のガンカモ類の越冬地 —

秋・冬

マガンの飛び立ち 伊豆沼・内沼

「ラムサール条約」とは、水鳥をはじめとする多様な生き物の生息地である「湿地」を守るための国際的な条約です。

県内には、伊豆沼・内沼(栗原市・登米市)、瀬栗沼・周辺水田(栗原市・登米市)、化女沼(大田原市)、志津川湾(南三陸町)の4つのラムサール条約登録湿地があり、これらが近接する地域は、全国的にも貴重な自然環境として注目されています。

登録地では、マガンの飛び立ちやマガンの自然観察ツアーなど、様々な人・生き物を守り育てる取り組みや、自然と調和した持続可能な利用（ブルースペース）を目指す取り組みが行われています。

今年、県内4つの登録湿地のうち、伊豆沼・内沼が登録40周年、瀬栗沼・周辺水田が登録20周年という節目を迎えます。この機会に、世界に誇る宮城のラムサール条約登録湿地の自然に、ぜひ触れてみてください。

伊豆沼・内沼 登録40周年  
瀬栗沼・周辺水田 登録20周年  
化女沼 登録40周年  
志津川湾 登録40周年

各湿地の拠点施設でのイベント情報はこちら

## ⑥ 大阪万博メディアセンターでの、ポスター・動画・パンフレット展示

大阪万博 メディアセンター内の各地域の魅力発信コーナーにおいて、9/22-24の3日間県内のラムサール条約湿地を紹介するパンフレット・動画・ポスターを展示。

### <ポスター>

1. 宮城県内のラムサール条約登録湿地紹介（県自然保護課作成）
2. 伊豆沼・内沼の取組（財団作成）
3. 大崎市の取組（大崎市提供）
4. 志津川湾の生態系（南三陸町提供）

### <動画>

1. 伊豆沼・内沼のマガンの飛び立ち（伊豆沼農産提供）
2. 大崎市世界農業遺産の紹介動画（大崎市提供）
3. 志津川湾紹介動画（南三陸町提供）
4. 伊豆沼・内沼のマガンのねぐら入り（伊豆沼農産提供）
5. 宮城県の紹介（県観光戦略課）

### <パンフレット>

1. みやぎの世界湿地（日本語版）
2. みやぎの世界湿地（英語版）
3. 伊豆沼・内沼のツアーを紹介するリーフレット（伊豆沼農産提供）
4. 蕪栗沼・化女沼を紹介するリーフレット（大崎市提供）
5. 志津川湾を紹介するリーフレット（南三陸町提供）
6. 宮城を紹介するパンフレット（Visit Miyagi）（県観光戦略課）



### ⑦ ノベルティ（エコバッグ）、バナースタンドの製作



エコバッグ（200枚）  
11月のイベント及び  
12月の式典・シンポジウムで頒布。



・バナースタンド  
（2種3セット）を製作  
・3つの各サンクチュアリ  
センターに設置。

### ⑧ 県政ラジオ放送による伊豆沼・内沼の取組紹介

県政の情報を発信している県政ラジオの中で、知事が自ら施策を紹介するコーナーにおいて伊豆沼・内沼の取組を紹介。

・放送予定日 1/31（土）11:50～（東北放送局、エフエム仙台、コミュニティFM）



⑪ 民間企業・ボランティア等と連携した環境保全活動



5月～6月：バス・バスターズ（全5回）  
企業単位での参加もあり



6月28日：トヨタ自動車グループ6社によるCSR



10月26日：(株)伊藤園によるCSR



6月～11月：いきいき学園による  
ボランティア活動（3回）



7月～12月：トヨタ自動車東日本(株)



豊田合成東日本(株)によるCSR（5回）

## ⑫ 友の会「秋穫祭」の拡大実施の支援

友の会が開催した「秋穫祭」を支援。いも煮等の提供に加え、写真教室やスタンプラリーなどのお楽しみイベントを支援した。

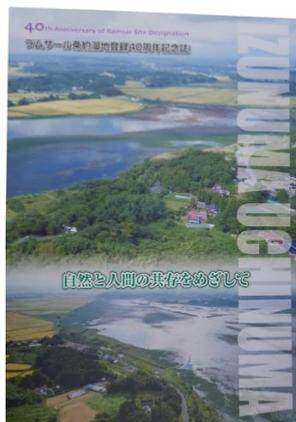
(開催日) 令和7年11月2日(日)

(場 所) 宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター



## ⑬ 記念誌の発行

・伊豆沼・内沼の歩みと財団の取組についてまとめた。300冊作成、関係先配布。



## ⑭ 記念缶バッジの作成

・各種イベントにおいて配布。



(4) 東北地方環境事務所

⑮ オリジナル手ぬぐいの制作・頒布

オリジナル手ぬぐいを製作し、「伊豆沼内沼ラムサール条約湿地登録40周年記念イベント、式典・シンポジウム」、「蕪栗沼・周辺水田ラムサール条約湿地登録20周年祭」など各イベント等で頒布



(5) 登米市

⑯ 小中学生向けリーフレットを作成し配付

市内のすべての小中学校にリーフレットを配付

市内小中学生配付用

## 登米市のラムサール条約湿地

今年で、伊豆沼・内沼は登録40周年!!  
蕪栗沼・周辺水田は登録20周年!!

**【ラムサール条約湿地ってなんだろ?】**

登米市には、豊かな湿地(※)があり、渡り鳥をはじめ、様々な水辺の生きものが、そこで生活しています。

こうした水辺の生きものにとって重要な湿地を、賢く利用して守っていかうという国際的な約束が「ラムサール条約」です。この条約の正式名称は「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」ですが、1971年にイランという国のラムサールという都市で開催された国際会議で採択されたことにちなみ、「ラムサール条約」と呼ばれています。

条約を結んだ国で、国際的な基準によって重要な湿地として指定し、「国際的に重要な湿地に係る登録簿」に登録された湿地が「ラムサール条約湿地」です。

保全・再生
ライフユース  
(賢明な利用)  
交流・学習  
(CEPA)

ラムサール条約の3つの柱  
(出典: 環境省ホームページ)

日本国内では、現在54カ所の湿地が登録されており、宮城県内には伊豆沼・内沼(登米市・栗原市)、蕪栗沼・周辺水田(大崎市・登米市・栗原市)、化女沼(大崎市)、志津川湾(南三陸町)の4カ所があります。

○伊豆沼・内沼は、1985年9月13日に国内で2番目に登録され、2025年に登録40周年を迎えます。

○蕪栗沼・周辺水田は、2005年11月8日に登録され、2025年に登録20周年を迎えます。

**登米市には、国際的に重要と認められた湿地が2カ所もありません。**

詳しくは、登米市のほか、環境省や宮城県、(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団のホームページなどをご覧ください。  
登米市市民生活部環境課  
電話: 0220-58-5553 / 電子メール: kankyo@city.tone.miyagi.jp  
登米市公式ホームページ: https://www.city.tone.miyagi.jp/

### どうして湿地は大切なの?

湿地は、生物多様性を支え、水質浄化や洪水緩和、温暖化防止に加え、農業や漁業の基盤を提供し、自然と人間の生活を守る重要な場所です。

**【登米市にあるラムサール条約湿地の概要】**

**【伊豆沼・内沼】**

日本で2番目にラムサール条約湿地に登録された、登米市と栗原市にまたがる大小2つの天然の淡水湖沼です。厳冬期でも湖面が凍結しにくく、周辺にえさ場となる広大な水田があるため、冬には多くのマガンやオオハクチョウなどが飛来し、国内最大級の飛来数の越冬地となっています。

水深は平均30cm、最大1.6mと浅いのが特徴で、沼の中央部までハスなどの水生植物が生育し、水生昆虫や鳥類、鳥類など多種多様な生きものが生息して、周辺に広がる水田の水源や洪水調整の役割も果たしています。

**【蕪栗沼・周辺水田】**

マガン、オオハクチョウの越冬地として全国でも最大級の飛来数を誇り、遊水池として自然環境が保全されてきました。ガンカモ類のえさ場となる周辺水田と沼を一体とした湿地登録が特徴です。

周辺水田では、「ふゆみずたんぼ」(冬のたんぼに水を張り、渡り鳥との共生を目指す手法)の取組が行われています。

伊豆沼・内沼のまわりには、沼の自然や歴史を学ぶことができる「サンクチュアリセンター」という施設があり、登米市(淡水湖沼)、宮城県(鳥類)、栗原市(昆虫類)の3施設があります。

また、登米市公式ホームページでは、伊豆沼・内沼生きもの図鑑を見ることが出来ます。(「登米市 生きもの図鑑」で検索)

**〈もっと伊豆沼やラムサール条約のことを知りたいときには〉**

宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターを管理する(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団では、伊豆沼・内沼の渡り鳥や水生生物の研究、自然再生事業などを行っており、そのホームページで伊豆沼・内沼に関する様々な情報や、毎年の渡り鳥の飛来状況などが公開されています。

また、同財団の岡田智留研究室長がプロジェクトリーダーを務める、伊豆沼に飛来するハクチョウにカメラをつけてもらい、渡りの様子や位置情報で記録する国際共同プロジェクト「スワンプロジェクト」が実施されており、ロマンあふれるハクチョウの空の旅の様子も見ることが出来ます。

・(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団ホームページ: <http://izunuma.org/>

みんなで伊豆沼をきれいに!!

毎年3月に、伊豆沼・内沼クリーンキャンペーン(ごみ拾い)が開催されます。どなたでも参加できるので、ぜひご参加ください。(開催日・申込方法等詳細は、2月頃に市公式ホームページ等でお知らせします。)

(6) 栗原市

⑰ 広報くりはら (8月号) への特集ページ掲載 (見開き4ページ)

共生style



伊豆沼・内沼の魅力を発見  
「伊豆沼・内沼」は、宮城県最大の自然環境保全地域である。豊かな自然環境を享受できる伊豆沼・内沼は、観光・レジャー・教育・研究など様々な面で活用されている。伊豆沼・内沼の魅力を発見し、その魅力を伝えることが、伊豆沼・内沼の持続可能な発展につながる。

共生伊豆沼・内沼ラムサール条約登録40周年  
共生スタイル

人と共生する沼の意見対立

1 宮城の自然 環境情報 2

共生style



一度崩れた生態系の回復には  
たくさんの方の力と  
長い時間が必要

伊豆沼・内沼の自然環境保全  
伊豆沼・内沼の自然環境保全は、宮城県最大の自然環境保全地域である。豊かな自然環境を享受できる伊豆沼・内沼は、観光・レジャー・教育・研究など様々な面で活用されている。伊豆沼・内沼の自然環境保全は、持続可能な発展につながる。

3 宮城の自然 環境情報 4

共生style



ワイズユースで取り組む  
共生スタイル

伊豆沼・内沼の自然環境保全  
伊豆沼・内沼の自然環境保全は、宮城県最大の自然環境保全地域である。豊かな自然環境を享受できる伊豆沼・内沼は、観光・レジャー・教育・研究など様々な面で活用されている。伊豆沼・内沼の自然環境保全は、持続可能な発展につながる。

Interview

1 宮城の自然 環境情報 2

共生style



伊豆沼・内沼に興味を持ち、関わり続けること  
それが、水辺のまちの共生スタイル

伊豆沼・内沼の自然環境保全  
伊豆沼・内沼の自然環境保全は、宮城県最大の自然環境保全地域である。豊かな自然環境を享受できる伊豆沼・内沼は、観光・レジャー・教育・研究など様々な面で活用されている。伊豆沼・内沼の自然環境保全は、持続可能な発展につながる。

Interview

3 宮城の自然 環境情報 4

(7) その他

⑱ 伊豆沼・内沼総合作品展の開催

- (日時) 令和7年7月1日～8月31日
- (場所) 宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター  
登米市伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター
- (主催) 伊豆沼・内沼自然保護協会
- (共催) 伊豆沼読書会
- (協力) (公財) 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団
- (協賛) (有) 及川商会、(有) 伊豆沼農産、  
農事組合法人 水鳥、(有) パレット、  
(株) コニー、若清テクノ (株)、  
(株) はさま会館
- (内容) シンポジウム (7/12)  
総合作品展 (7/1～8/31)

栗原市誕生20周年記念 登米市市制施行20周年記念  
伊豆沼・内沼ラムサール条約登録湿地指定40周年記念

# 伊豆沼・内沼総合作品展

伊豆沼・内沼自然賛歌  
協会員の写真、絵画、短歌、俳句、川柳、音楽、歴史、文学などの総合作品展

無料入場

栗原市 令和7年7月1日(祝)～27日(日)  
午前9時～午後4時30分(休) 7月22日(土) 休館  
宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター

登米市 令和7年8月1日(祝)～31日(日)  
午前9時～午後4時30分(休) 8月12日(土) 休館  
登米市伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター 二次会場

伊豆沼・内沼シンポジウム  
7月12日(土) 午後1時30分～4時(休) 午後1時  
伊豆沼・内沼の魅力を発見し、共に  
共生伊豆沼・内沼

協賛: (有) 及川商会、(有) 伊豆沼農産、農事組合法人 水鳥、(有) パレット、(株) コニー、若清テクノ (株)、(株) はさま会館

協賛: (有) 及川商会、(有) 伊豆沼農産、農事組合法人 水鳥、(有) パレット、(株) コニー、若清テクノ (株)、(株) はさま会館

協賛: (有) 及川商会、(有) 伊豆沼農産、農事組合法人 水鳥、(有) パレット、(株) コニー、若清テクノ (株)、(株) はさま会館